

東京都

早稲田大学 ～J Aと歩む珍しさ、早稲田農業サークルこだま～

● J Aと学生がタッグで農業に挑む－「こだま」誕生

- ・ J A職員だった祖父母の影響で、創設者の山本氏が、農業と地域活動への関心を深めたことが始まり。
- ・ 2017年、大学のプログラムを機に J A 埼玉ひびきのと連携し、本庄児玉地域で農業サークルを創設。

● 活動理念－学生の学びを、地域の力に－

- ・ 学生自身が、体験と学びを通じて農業の現場を理解し、その魅力を広く発信しながら成長していく。
- ・ J A 直売所の販売戦略の提案や農産物の P R 活動を通じて、地域農業の価値を高め、活性化に貢献する。

● サークル運営－多彩なチームで広がる、学びと実践－

- ・ 活動は、月 2 回の対面ミーティングと月 1 回の現地訪問に加え、食品開発や販売提案、合宿などを展開。
- ・ 企画から農業体験、マーケティング、勉強会、野菜の販売まで、分野別チームにより多面的な活動を実現。

<見逃せないポイント>

学生が J A 活動に関わることで、体験型・課題解決型の取り組みを可能とし、活動費の支援も受けている。

農業って、こんなに面白い！
ちょっと体験してみない？



なぜこの野菜を選ぶのか？
直売所で消費者心理を考察



● 主な活動内容

- ・ 農業体験：メンバーが農業に触れる機会を創出し、現場を理解するとともに、主体的に考える力を養う。
- ・ 勉強会：JAの仕組み？、農業は稼げるか？など、多様なテーマに応じてプレゼンターを選び、話題を提供。
- ・ マーケティング：直売所を訪れ、購買傾向を分析し、季節感の演出などと合わせた販促ポップを提案。
- ・ 野菜の販売：大学や地域イベントで、野菜のPR・販売を通じて、消費者との接点をつくり、活動費も確保。

● 活動の成果

- ・ 農や食に関心を持つ人々とつながり、JA関係者や生産者と農業について深い議論をする機会が得られる。
- ・ JA関係者からは、地域を知ってもらえる若い人材が増えていることに感謝の声が寄せられている。

● 詳しい情報（ホームページ、Instagram）

野菜のネット販売も検討中！

他大学生歓迎！一緒に地域を盛り上げよう

[早稲田農業サークルこだま - 大学HP](#)



課題を読み解いて、提案へ
学生主体の未来思考と議論



商店街でほっこり、野菜と笑
顔が並ぶ、こだまのマルシェ



★ 概要 ★

サークル開設：2017年
メンバー：35名

活動分野：農業体験、マーケティング、野菜の販売
問合せ方法：サークル Instagram「メッセージ」ボタンより